

資料

学会参加報告: East Asian Forum of Nursing Scholars @2024

小森 直美¹

この度、3月7日から8日まで香港大学に於いて **Generating Impact Through Doctoral Nursing Education** をテーマに開催されました、第27回東アジア看護学研究者フォーラム(27th East Asian Forum of Nursing Scholars)に参加させていただきました。

私は、日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金 課題番号: 20K11065)を受けて、2020年から「医療的ケア児のための居場所支援『訪問看護ステーション療養通所介護』の試行と評価」という研究を行っております。今回、この研究で得られた成果を「**A study on temporary care for children with medical complexity at visiting nursing stations**」という演題で発表してまいりました。

医療的ケア児 **children requiring complex medical care** (以下、CMC)が地域社会に融合しながら生活して行く「地域共生社会」の構築のためには、訪問看護ステーションという新たな CMC の居場所が必要であるという研究結果を、データから導き出し発表してまいりました。CMC が年々増加しているという課題は、日本に留まらず世界的な課題であること、少子高齢化に続く社会的問題となり得ることについて、日本をはじめ香港、韓国、タイ、フィリピン、台湾、シンガポールの研究者らとディスカッション

でき、とても有意義な会議となりました。また、2024年4月からは新たに日本学術振興会科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)を受け、「訪問看護師による医療的ケア児の保護者のためのセルフ・コンパッションの実践と評価」の研究に着手することが決定いたしました。これからは CMC の保護者のためにも、研究に精進していきたいと心新たにする機会となりました。

最後になりますが、学会参加にあたり、ご理解ならびにご支援を賜りました荒賀学長、北岡学部長をはじめ関係者の皆さまに心より深謝申し上げます。

